

牧師室から (2022.11.20)

2, 3 か月前頃、まだ父が存命であった時のことである。実家の庭の片隅からある植物が生えてきた。そこは父が家庭で出た生ごみを土に還すために埋める場所であった。両親が「淳一、何だこれは？」と訊くのだが、私もわからない。そこで以前この欄でも書いたことがあるが、花の写真をスマホで撮って、何の花かを認証するアプリをつけたので、もしかしたら葉からもその植物が何であるのか分かるかもしれないと思い、試してみた。するとそれが機能して、生え出てきたものがジャガイモであることが分かった。きっと捨てたごみの中にジャガイモの残骸が入っていてそこから芽が出たのだろうということとなった。しばらく置いてから掘ってみたら大きな芋が一つ付いていた。何だかとても得をした気分になり、家族で喜んで採って食べた。

それから父が亡くなり、生ごみを埋めることもなくなったが、何とまたそこからジャガイモらしきものが出てきたのである。季節もだいぶ遅いので、収穫はできないかもしれないけれど、なんだか不思議では shouldn't ない。いつ掘ってみようかと思案している。

♪球根の中には花が秘められ・・・いのちの終わりはいのちの始め。おそれは信仰に、死は復活に、ついに変えられる永遠の朝。その日、その時をただ神が知る。

(讃美歌 21 - 575)

(鈴木淳一牧師)